

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32402	企業・経営のしくみ Corporate System	小野功一郎			2	選択	1・2後期

科目の概要

この授業では、企業及びその経営について、そのしくみの基礎を学びます。受講者は就職活動における企業活動に役立つ基礎知識を身につけることができ、また学んだことを将来の社会人生活としての人生で応用し、活かすことが期待されます。初めから「難しい」と決めつけず、理解しようという気持ちを持ち（主体性）、授業を聴き（傾聴力）、何故かを考えてみる（課題発見力）が大切です。本科目は、ディプロマ・ポリシーの②③④に相当し、これらを身に付けるために学んでもらいます。

学修内容	到達目標
① 会社、企業の特徴、働きを理解する。 ② 企業経営にとって必要なこと、求められることを理解する。 ③ 会社の形態（株式会社、有限会社など）の特徴と違いを理解する。 ④ 企業の組織構造と経営管理の基本を理解する。 ⑤ 企業の財務・会計の基礎知識を習得する。 ⑥ マーケティングと営業戦略の基本を理解する。 ⑦ 人事・労務管理の役割と重要性を理解する。 ⑧ 企業の社会的責任（CSR）と企業倫理について学ぶ。 ⑨ 企業の経営戦略と意思決定プロセスについて理解する。 ⑩ 日本企業の特徴と国際経営の基礎知識を習得する。	① 企業経営のしくみを説明することができる。 ② 日々報道される企業に関する報道に関心を持ち、より深い企業研究ができる。また企業で働く際に求められる知識を得ることができる。 ③ ディプロマ・ポリシーの②③④に相当する。 ④ 企業の組織構造や経営管理システムの基本的な仕組みを説明できる。 ⑤ 企業の財務諸表を基本的なレベルで読み解くことができる。 ⑥ 企業のマーケティング活動と顧客価値創造の関係を説明できる。 ⑦ 人事・労務管理の役割と従業員との関係性について理解し、説明できる。 ⑧ 企業の社会的責任と持続可能な経営の重要性を認識することができる。 ⑨ 企業の意思決定プロセスとステークホルダーの関係を説明できる。 ⑩ グローバル化する経済環境における日本企業の特徴と課題を理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	シラバスを使って、次の授業内容を確認する。課題は必ず実行し提出する（欠席した場合は欠席課題とするので後日提出する）。
	働きかけ力	企業活動に関する事例やニュースを自ら調べ、授業内でのディスカッションに積極的に参加することができる。また、グループワークでは他の学生と協力しながら、課題解決に向けて建設的な提案ができる。
	実行力	課題（小テスト）・レポートは期限内に提出することができる。
考え抜く力	課題発見力	課題（小テスト）・レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。
	計画力	企業分析やケーススタディに取り組む際に、情報収集から分析、発表までの作業工程を計画的に進め、期限内に質の高い成果物を作成することができる。
	創造力	課題（小テスト）・レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。
チームで働く力	発信力	教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題（小テスト）に自分の学べたことや意見をまとめることができる。
	傾聴力	教員はどのようなことを言っているのか考えながら聴き、大事なことはメモを取りながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。
	柔軟性	グループディスカッションやケーススタディにおいて、多様な意見や考え方を尊重し、自分の考えを柔軟に修正しながら、より良い解決策を導き出すことができる。
	状況把握力	グループワークや授業内の議論において、全体の進行状況や他のメンバーの理解度を把握し、適切なタイミングで発言や質問をすることができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	課題提出や発表などのプレッシャーがある状況でも、冷静さを保ち、効果的に対処することができる。また、グループワークでの意見の相違などによるストレスを適切に管理し、建設的な関係を維持することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：授業内配布

参考文献：菊池敏夫・櫻井克彦・田尾雅夫・城田吉孝『現代の経営学』（税務経理協会、2018年）、2,970円（税込）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ビジネス・スタディユニットの各科目

資格との関連：ビジネス実務士、ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
①講義形式を中心とするが、受講生の参加（授業中の発言、課題への記入）を求め、評価に反映する。 ②授業で学んだことを基に、自分の周り（テレビ・インターネット・新聞等含む）にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。	①授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分注意する。 ②授業を3回以上欠席した場合は、担当教員と連絡を取った上で補習・助言を受ける。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	⑥	①授業で紹介したキーワード、基礎知識を理解しているかを評価する ②授業で扱った事例を、学んだ知識で説明できるかを評価する ③学んだ知識を自分自身の知っている事例、未知の経営課題に応用できるかどうかを評価する （傾聴力、課題発見力、創造力）
				②	✓	⑦	
				③		⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
	平常評価	小テスト	30	①	✓	⑥	①毎回の授業で学んだ内容をきちんとまとめているかを評価する ②授業内容の確認として課される課題に答えられているかを評価する （傾聴力、発信力、創造力）
				②	✓	⑦	
				③		⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
		レポート	10	①	✓	⑥	企業研究レポート ・授業で学んだ知識を応用し、企業経営に関する事例を分析・紹介する ・単なる切り貼りで自分の意見が見えてこないものは5～15点減点する （実行力、課題発見力、創造力）
				②	✓	⑦	
				③		⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①		⑥	
				②		⑦	
				③		⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	（主体性）シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。課題は必ず実行し提出する（欠席した場合は欠席課題として後日提出）。 （実行力）課題は期限内に提出することができる。 （課題発見力）課題のテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。 （創造力）課題に自分なりの意見を考え、書くことができる。 （発信力）教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題に自分の学べたことや意見をまとめることができる。 （傾聴力）教員はどのようなことを言っているのか考えながら聴き、大事なことはメモを取りながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。 （規律性）遅刻・無断欠席など学習意欲欠如きたす行動をせず、授業が円滑に進むようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓	⑦		
			③		⑧		
			④		⑨		
			⑤		⑩		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）：自分自身で企業経営の簡単なプランニングを行うことができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた） A（優）：自分自身で企業経営の事例を調査・分析することができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた）	B（良）：授業で紹介した企業経営の事例を説明することができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた） C（可）：毎回の講義のC（可）の達成基準の設問を説明することができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（選択式・用語記入式）に答えることができた）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	現代企業の種類・規模・業種を理解する	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	・大企業と中小企業の違いを説明できる	（予習）テキスト5-6頁を予め参照 （復習）企業の種類・規模と業種についてまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	企業の制度化について理解する 企業のステークホルダー（利害関係者）について理解する	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	・企業のステークホルダーにはどのようなものがあるかを説明できる	（予習）テキスト16-23頁を予め参照 （復習）企業のステークホルダーにはどのようなものがあるのかをまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	日本的経営（雇用制度・人材育成・生産管理など）について理解する	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	・日本的経営における雇用制度の特徴を説明できる	（予習）テキスト23-26頁を予め参照 （復習）日本的経営の特徴的なポイントについてまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	コーポレート・ガバナンス（企業統治）について理解する コーポレート・ガバナンスを機能させるシステムについて学ぶ	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	・取締役会の機能について説明できる	（予習）テキスト47-63頁を予め参照 （復習）コーポレート・ガバナンスを機能させるシステムの種類についてまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	経営戦略の考え方を知る 経営資源について理解し、経営資源の配分の手法（PPM）を学ぶ	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	・経営資源の配分の手法（PPM）について一通り説明できる	（予習）テキスト65-72頁を予め参照 （復習）PPMの手法を用いて、各商品の位置づけを事例としてまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	SWOT分析を理解する ポーターの「三つの基本戦略」を学ぶ コトラーの競争地位戦略を学ぶ	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う 課題レポートの要項を示す（10週終了時に提出）	・コトラーの競争地位戦略を一通り説明できる	（予習）テキスト72-84頁を予め参照 （復習）三つの基本戦略を用いて、一業種の各企業が取るべき戦略を位置づけまとめ、Google classroom経由で提出（レポート） 競争地位戦略の内容を説明した上で、その具体例を一つ紹介・解説する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	科学的管理法の考え方を知る ホーソン実験とその結果について学ぶ	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	・ホーソン実験の経緯を一通り説明できる	（予習）テキスト85-94頁を予め参照 （復習）経営管理の歴史を一通りまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	マズローの欲求段階説を学ぶ マグラガーのX理論・Y理論を学ぶ	講義 課題（小テスト）をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	・X理論・Y理論の違いを一通り説明できる	（予習）テキスト95-103頁を予め参照 （復習）欲求段階説やX理論・Y理論に基づき動機づけの重要性をまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	公式組織・非公式組織の違いを知る 意志決定について学ぶ	講義 課題（小テスト）を Google classroom経由 で提出 フィードバックは授業 内の、復習課題の解説 で行う	・意志決定について一 通り説明できる	（予習）テキスト111- 118頁を予め参照 （復習）意志決定はど のように行われるのか をまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	組織編成の考え方を知る 組織編成の種類（ライ ン&スタッフ・職能別 組織・事業部制組織・ マトリックス組織・ SBU）について学ぶ 課題レポートを提出す る	講義 課題（小テスト）を Google classroom経由 で提出 フィードバックは授業 内の、復習課題の解説 で行う	・組織編成の種類につ いて一通り説明できる	（予習）テキスト118- 126頁を予め参照 （復習）組織編成の種 類それぞれの特徴を一 通りまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	リーダーシップの考え 方を知る コンティンジェン シー・アプローチを学 ぶ	講義 課題（小テスト）を Google classroom経由 で提出 フィードバックは授業 内の、復習課題の解説 で行う	・リーダーシップの基 本的な考え方を一通り 説明できる	（予習）テキスト147- 160頁を予め参照 （復習）リーダーシ ップ研究の手法を一通り まとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	企業の社会的責任 （CSR）を理解する 企業体制発展の原理を 学ぶ	講義 課題（小テスト）を Google classroom経由 で提出 フィードバックは授業 内の、復習課題の解説 で行う	・企業の社会的責任の 種類について一通り説 明できる	（予習）テキスト165- 172頁を予め参照 （復習）企業の社会的 責任が必要な理由を一 通りまとめ、Google classroom経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	経営倫理について学ぶ 現代における企業の社 会的責任の動向を理解 する	講義 課題（小テスト）を Google classroom経由 で提出 フィードバックは授業 内の、復習課題の解説 で行う	・経営倫理及び現代の CSRそれぞれのポイン トについて一通り説明 できる	（予習）テキスト172- 179頁を予め参照 （復習）経営倫理の流 れと、現代のCSRの動 向について一通りまと め、Google classroom 経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	企業の社会貢献の考え 方を知る コーズ・リレーテッ ド・マーケティング （CRM）について学ぶ ソーシャル・ビジネス を理解する	講義 課題（小テスト）を Google classroom経由 で提出 フィードバックは授業 内の、復習課題の解説 で行う	・ソーシャル・ビジネ スの特徴を一通り説明 できる	（予習）テキスト183- 199頁を予め参照 （復習）企業の社会貢 献の内容を一通りまと め、Google classroom 経由で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	環境問題を理解する 環境経営の考え方につ いて理解する	講義（オンデマンド方 式） 課題（小テスト）を Google classroom経由 で提出 フィードバックは授業 内の、復習課題の解説 で行う	・環境に配慮した経営 のしくみを一通り説明 できる	（予習）テキスト201- 215頁を予め参照 （復習）環境問題に対 する企業経営の取り組 みを一通りまとめ、 Google classroom経由 で提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力